NEWS

SAPジャパン

SAP HANA の最新版 SP9 を提供開始

～プラットフォーム機能のさらなる拡張によりエンタープライズ基盤として進化しシンプル化を促進～

SAP ジャパンは、SAP HANA プラットフォームの最新版「SAP HANA Service Pack 9（以下、SP9）」の提供を開始した。

ビジネスをシンプル化し、クラウド上でイノベーションを実現することは、お客様にとって不可欠な要素である。SAP HANA SP9 は、お客様に真のイノベーションとビジネスプロセスや開発プロセスのシンプル化を実現してもらえるよう、マルチテナントなどの新機能が採用されている。

マルチテナント機能を利用することで、次のようなシナリオでランドスケープのシンプル化が考えられる。これまで、SAP HANA を分析プラットフォームとして利用し、SAP Business Warehouse powered by SAP HANA と SAP Business Suite powered by SAP HANA を別のシステム上で稼働していたお客様は、これを統合して単一のシステムのマルチテナントデータベースとして稼働させることができる。また、本番機、検証機、開発機を同一のシステム上のマルチテナントデータベースとして稼働させることで、ハードウェアの集約が可能になる。

SAP HANA の最新版がお客様のイノベーションを実現

現在、SAP HANA の利用企業数は、全世界で 4,300 社を超え、SAP HANA プラットフォームを活用しているスタートアップ企業は 1,700 社を超えている。今回提供を開始した最新版の SAP HANA SP9 には、次のような多岐にわたる重要なイノベーションが導入されている。

◆マルチテナント機能：オンプレミスとクラウドの環境で、複数のデータベースのワークロード管理を可能にするマルチテナントに対応。これにより、プロビジョニングと管理の作業のシンプル化が可能となり、お客様はシステムリソースをより有効活用し、全体的な設備投資の低減が可能になる。

◆ダイナミックデータティアリング機能：インメモリに最適化されたテーブルに加えて、ディスクに最適化されたテーブルの利用が可能になる。高いコスト効果を維持しつつ、ペタバイト級の超大規模のデータセットを管理して、クリティカルデータへのシームレスで透過的なアクセスが可能だ。

◆スマートデータインテグレーション／スマートデータクオリティ機能：データのプロビジョニング、変換、クレンジング、エンリッチメントの機能を追加した。

◆スマートデータストリーミング機能：大量のストリーミングデータをリアルタイムで処理・分析する機能を追加した。

◆ ACID 準拠の高性能グラフ・ストレージ／エンジン機能：エンタープライズデータや、相互関連性の高いソーシャルネットワークやサプライチェーンのデータ処理に利用できる。たとえば、SAP 子会社の SuccessFactors のソリューションの場合、SAP HANA のグラフ機能を使用することで、トランザクションとグラフのデータを統合管理し、これまで隠れていた洞察や複雑すぎて計算できなかった洞察を見出すことで、学習者の特定や学習材料の推奨に役立っている。

◆ Hadoop 連携機能：SAP HANA の Hadoop 対応ユーザー定義関数（UDF）により SAP HANA が MapReduce にアクセスすることで、Hadoop 内のジョブを直接実行できる。

● SAP ジャパン
TEL：0120-786-727

日本オラクル

高速分析専用マシンの最新版「Oracle Exalytics In-Memory Machine X4-4」を提供開始

～「Oracle Database In-Memory」の活用により、さらに高速にビッグデータから洞察を獲得～

日本オラクルは、ビジネス・インテリジェンス（BI）や統合業績管理アプリケーション用に高性能な分析処理機能を提供するよう設計された高速分析専用マシンの最新版である「Oracle Exalytics In-Memory Machine X4-4」の提供を開始した。

「Oracle Exalytics In-Memory Machine」は、BI ソフトウェア、インメモリ分析ソフトウェアとハードウェアを最適化したオラクルのエンジニアド・システムズで、ビッグデータの分析に高い性能を発揮する。最新版では、ハードウェア面でオラクルのビジネス・アナリティクス用に特化して開発された Intel Xeon プロセッサを搭載し、従来版に比べて 1.5 倍高速化したクロック速度をサポートし、プロセッシングコアの搭載量を 1.5 倍に増加、1.5 倍拡大したメモリ容量を提供する。さらにソフトウェア面では、「Oracle Database In-Memory」に対応することで、インメモリ分析の対象を拡大して Oracle Database のすべての機能を利用できるようになった。また、日本オラクルでは、「Oracle Exalyitcs In-Memory Machine X4-4」の提供に合わせ、顧客企業のビジネス・アナリティクス導入を支援するサービスを提供開始する。

高速分析専用マシンの最新版である「Oracle Exalytics In-Memory Machine X4-4」は、オラクルのエンジニアド・システム用に特化して設計された Intel Xeon E7-8895 v2 シリーズのプロセッサ 4 個を搭載し、ハードウェア機能を強化した。このプロセッサによって周波数やコア数をダイナミックに拡張し、オラクルのソフトウェア性能を最大化して、シングルスレッドのパフォーマンス高速化と大規模な並行処理が要求されるビジネス・アナリティクス・アプリケーションの処理に対応することができる。

「Oracle Exalytics In-Memory Machine X4-4」には、マシン 1 台当たり最大 3TB のメモリを搭載でき、分析データマート全体をメモリに格納することできわめて高速な分析を実現する。また、最大 4.8TB の PCIe フラッシュメモリ、7.2TB のハードディスク容量をサポートし、従来のバージョンからあらゆる容量が拡大されている。

「Oracle Exalytics」の機能が「Oracle Database In-Memory」に対応した。マシン 1 台当たり最大 3TB のメモリと合わせて、データマート全体をメモリ上に格納でき、ハードウェアを含むシステム全体を更改することなく、高速な分析処理を提供できる。また、ハードウェアとソフトウェアがあらかじめ最適化されたエンジニアド・システムの特長により、ハードウェアの性能を最大限に利用することが可能だ。

日本オラクルでは、「Oracle Exalyitcs In-Memory Machine X4-4」の提供に合わせて、顧客企業のビジネス・アナリティクス導入を支援する以下のサービスを提供する。

◆「Technical Support Service for Exalytics」：国内外の豊富な実績に基づいたベスト・プラクティスを活用し、オラクルのコンサルタントが短期間かつ高品質に設計・構築・稼働試験を実施、ガイドすることで、バックアップ・監視などを含めた大規模分析基盤の円滑な導入・運用を支援する。

◆「Oracle Architecture Insight for EIM/Big Data & IoT」：オラクルのアーキテクトが顧客とのワークショップを通じて、ビジネス戦略を実現するための新たなデータ活用機会の発掘、既存のデータ管理・分析環境における課題解決に向けたアーキテクチャ、およびロードマップの策定を支援する。

●日本オラクル
TEL：03-6834-4837

NEWS

デジタルアーツ

Web 上の脅威対策を強化した純国産プロキシ・アプライアンス「D-SPA」Ver.3 を 2015 年 2 月上旬より提供開始

デジタルアーツは、純国産のセキュア・プロキシ・アプライアンス製品「D-SPA（DigitalArts Secure Proxy Appliance）」において、最新の「i-FILTER」と常に連動し、Web 上の脅威対策を強化した新しいコンセプトのプロキシ・アプライアンス「D-SPA」Ver.3 を 2015 年 2 月上旬より提供開始する。

企業を脅かす外部からの攻撃は、従来、ネットワークシステム型のものが主流だったが、Web アプリケーションの利用が日常化する中で、近年では Web サイトやアプリケーションをターゲットとした攻撃へと移行している。企業側も Web 上のあらゆる脅威への対策が求められるようになってきていることから、セキュリティ対策上、従業員の Web の利活用において一定の制御を行わねばならず、管理者の工数も増加傾向にある。また、世界的な傾向として、全ての Web ページの安全性を高めるために「常時 SSL」化が進んでいるが、日本でも今後、「常時 SSL」化が加速することが予測され、これによる通信時にかかる負荷の対応が課題になっている。

デジタルアーツでは、これらの課題が中堅中小企業を含むマーケットに広がっていることから、よりその層にも受け入れられやすいアプライアンスの形で提供することが大事であると考え、従来の「D-SPA」を強化した、新しいコンセプトのプロキシ・アプライアンス「D-SPA」Ver.3 として発売することにした。

「D-SPA」Ver.3 は、実績のあるプロキシ・アプライアンスとしての高いコストパフォーマンスはそのままに、Web 上の脅威対策と従来比 10 倍の高速な SSL デコード処理が柔軟にできる最新版の「i-FILTER」との連動を可能にし、24 時間 /365 日体制でのオンサイトハードウェアサポート提供エリアを拡大した。アプライアンスとして、特にセキュリティ対策に多くの工数をかけられない管理者における導入時の手間を削減するとともに、運用開始後の工数削減を実現している。

Web ゲートウェイ・セキュリティ・アプライアンス市場は、従来、外資系メーカーの製品が高いシェアを獲得してきたが、新たに発売する「D-SPA」Ver.3 は、Web アクセスの効率化を図りたい企業や公共・文教のお客様の“管理者の工数削減”と“安心”の 2 つのニーズに対し、国内における開発・サポートの一貫体制のメリットなどにより、2015 年度は 100 台の販売を目標にしている。

デジタルアーツの「D-SPA」シリーズは、お客様の企業規模に合わせて選択できるよう、低価格で豊富なラインナップを揃えているとともに、「i-FILTER」を搭載した純国産ブランドとして日本語でのきめ細やかで迅速なサポート対応を行っている。

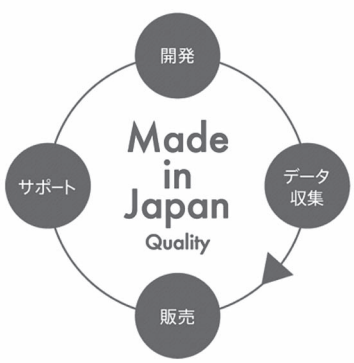
デジタルアーツでは、今後もより多くの企業や教育機関に、安価で最適なセキュリティ環境を提供することを目標に、「D-SPA」シリーズの販売強化を行っていく。

【「D-SPA」Ver.3 の主な特徴】

◆プロキシ・アプライアンスとして高いコストパフォーマンスを提供

◆最新の「i-FILTER」が使えるプロキシ・アプライアンス。「i-FILTER」利用の管理工数削減が可能

◆信頼の国内開発と 24 時間 /365 日体制でのオンサイトハードウェアサポートで対応



●デジタルアーツ
TEL：03-5220-1110

びじねす玉手箱

CTC

ASEAN 地域からグローバルなシステム運用・監視サービスを開始

～障害予防のための 24 時間監視サービスや多言語でのヘルプデスクサービスを提供～

伊藤忠テクノソリューションズ（以下、CTC）は、マレーシアで IT システムの構築・保守を行うグループ会社 CTC Global Sdn Bhd（以下、CTC グローバル マレーシア）とともに、お客様の運用業務を効率化する運用・監視サービス CTC Proactive Service（CPS）の提供を開始した。

多くの日系企業が進出している ASEAN 地域では、セキュリティを含めた規制強化やコスト削減の必要性から、現地での IT システムの運用業務がますます重要になっている。CTC グローバル マレーシアは、24 時間 365 日の障害予防のためのシステム監視や自動化技術（RBA：Run Book Automation）を活用し、障害対応を行う運用・監視サービス CTC Proactive Service を、海外、ASEAN 地域向けに開始した。リモートアクセスの際の安全な通信や自社システムの状況をリアルタイムで把握できる管理用ポータルサイトを用意。障害の対応業務の約 60％を定型化することができ、RBA を活用して作業を効率化することで、ユーザー企業はシステム運用コストを最大で 30％削減することが可能だ。

CTC グローバル マレーシアは、長年、マレーシア国内の 23 拠点でシステムの保守サービスも提供しており、今回の CTC Proactive Service の提供開始により、システムの予防監視から障害発生後の対応まで、トータルなアフターサービスを提供できるようになった。

●伊藤忠テクノソリューションズ
TEL：03-6203-4100

シスコシステムズ

「Less is More」をテーマに主力の 3 画面ビデオ会議システムを完全リニューアル

～必要帯域、消費電力、設定時間を従来モデルより半分に削減した新シリーズを発表～

シスコシステムズは、必要帯域、消費電力、設定時間を従来モデルより半分に削減した、ビデオ会議システム、テレプレゼンスの新シリーズ「Cisco TelePresence IX5000（以下、Cisco IX5000）」を発表した。

シスコは、過去 2 年間にわたって、コラボレーション関連の製品を通じ「一切の妥協を許さない」コラボレーションエクスペリエンスを提供できるよう全面的な刷新に努めてきた。ソフト／ハードウェアまでのあらゆる製品について細心の注意を払い、シンプルかつ手ごろな価格で、様々な環境で快適なコラボレーション体験を提供することを目指してきた。

ハイエンド機種の改良にあたり、シスコの設計担当者とエンジニアは、お客様に最高の品質でより臨場感のあるビデオや音声、コラボレーション体験を提供すると同時に、インストールの複雑な手順を排し、冷却のための電力やネットワーク帯域使用のために高額の料金が発生しないよう考え、担当チームは常に「Less is More（少ないほど豊かである）」という 1 つのデザイン原則のもとに作業を進めた。

新登場した Cisco IX5000 シリーズは、6 ～ 18 人までのユーザーに対応し、ワールドクラスのビデオ品質を備えた快適なコラボレーション環境を提供する製品だ。しかも、必要帯域幅（H.265 圧縮規格）は従来製品や他社の 3 画面システムの半分、消費電力はヘアードライヤー以下（10 アンペア以下）に低減できる。

●シスコシステムズ
E-mail：press-jp@cisco.com

NEWS

ALSI

クラウド型 Web フィルタリングサービスの新バージョン「InterSafe CATS Ver.4.1」を発売

～スケジュール機能を追加し、柔軟な Web アクセスを実現～

アルプス システム インテグレーション（以下、ALSI）は、標的型攻撃に対応したクラウド型 Web フィルタリングサービス「InterSafe CATS」をバージョンアップし、2014 年 12 月 15 日より発売開始した。

「InterSafe CATS」は、国内 Web フィルタリング市場でトップシェアを獲得している ALSI のクラウド型サービスだ。社外で利用するモバイル PC やスマートデバイスなど、4 つの「Any」（いつでも（Anytime）、どこでも（Anywhere）、どのような端末も（Any Device）、どのような通信も（Any NetWork））に対応している。

新バージョンでは、スケジュール機能を搭載し、これを利用することで、時間帯や曜日に応じて柔軟にフィルタリングルールを適用できる。たとえば、業務時間中は業務に不要なサイトへのアクセスを規制して私的利用を防止し、業務時間外はグルメサイトやスポーツサイトなどを閲覧できるようにするなど、利用環境や組織のセキュリティポリシーに応じて、柔軟な運用ができるようになる。特に BYOD で個人端末を業務で利用するような場合は、公私を分けて活用できる。

その他にも、「Google Apps」のログイン制御機能も追加し、法人・団体で契約している Google アカウントのみ利用を許可するなど、インターネットの私的利用と業務利用を柔軟に管理し、より安全な Web アクセスを実現できる。

●アルプス システム インテグレーション
TEL：03-5499-8043

SAS Institute Japan

金融機関および一般企業の事業戦略の立案、資本計画の統合を支援する「SAS Capital Planning and Management」の国内提供を開始

SAS Institute Japan（以下、SAS）は、リスク管理機能と財務機能を統合するソリューション「SAS Capital Planning and Management」の国内提供を開始した。

銀行はリスクを軽減して経済ストレスに対処できる十分な資本を維持するために包括的な資本計画を毎年策定・実施する必要がある。また、一般事業法人においても事業計画と経済ストレスを反映した将来の B/S、P/L の予測から事業戦略を立案することは、競争優位性を維持するための重要な要素だ。SAS Capital Planning and Management は、業務効率化を実現するプロアクティブかつ統一的な資本計画により、銀行・一般事業法人の経営管理業務の円滑化を実現するソリューションだ。

SAS Capital Planning and Management は、外部のシステムとの円滑な連携機能も備えながら、リスクデータと財務データの統合を強化して銀行・一般事業法人の経営管理業務の円滑化を実現する SAS の新しいソリューションである。ビジネスプロセスのワークフローを直接的かつ厳密に管理する機能や、詳細な資本計画フレームワークを提供し、業務パフォーマンスを迅速に向上させる本ソリューションは、銀行・一般事業法人の資金・財務部門において財務、ビジネス戦略、リスク管理のデータを統合・分析することで、資本の配分、最適化計画を一元管理し、全社的なビジネス戦略の推進に使用することができる。

● SAS Institute Japan
TEL：03-6434-3700